

23	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106010	安定化過冷却液体の大過冷却相変態の利用による高機能性非平衡金属材料の創製と工業化	井上 明久 (東北大学・金属材料研究所・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>多くの合金系について系統的に研究が進められており、着実に成果が上げられている。本課題に関連するものとしては、Co 基バルク金属ガラスについて最高強度を達成するとともに、この金属ガラスが優れた軟磁性を有することを見出した成果が特筆される。研究代表者が、多数のプロジェクトを持ち、巨額の研究資金を得て研究活動を進めている状況を考えると、バルク金属ガラスをベースとして工業化という立場から社会的にインパクトのあるものを提示して欲しい。</p>				
24	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106011	炭酸ガス排出抑制型低温高酸素ポテンシャル高速新製銑法の開発	永田 和宏 (東京工業大学・大学院理工学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>従来の高炉の製銑温度より低い温度、かつ高酸素分圧下で鉄鉱石を還元し、短時間で銑鉄を得るプロセスを実験室規模で成功させている。この方法は、CO<sub>2</sub>削減という環境問題への対応も可能とするものであり、今後大型プロセス化のための努力を継続してほしい。</p>				